



フレンズ通信

Friend News No.26



フレンズインタビュー ラッキーライラック

今回のラッキーライラックは、南10階病棟 高野 喜重さんと中央滅菌・検査部門 原 幸江さん です。高野さんと原さんは、これまで様々な部署で働き看護経験はもちろん、人生経験豊かなプラチナナースです。そんなお二人に、これまで印象に残っている看護体験や今後やりたいことなどについてお伺いしました！



高野さんは、南10階病棟と外来化学療法室の両方で活躍されています

南10階病棟 高野 喜重さん

Q1：これまで経験した部署を教えてください

泌尿器科、耳鼻咽喉科、第4内科、脳神経内科、婦人科、腫瘍内科

Q2：働く上で大切にしていることを教えてください

患者さん・家族の立場になって考えること。そして、安全に責任感を持って対応すること。

Q3：こころに残る看護(体験)を教えてください

耳鼻科勤務のとき、ACPもDNARもない頃のこと。60代の下咽頭癌末期の男性患者さんに、最期の過ごし方を相談されました。それまでの私の経験を参考までにお伝えしました。そして患者さんと奥様が決めた最期を迎えることができました。意思決定支援にかかわり、少しでもサポートできた体験が今の私の支えになっています。

Q4：今後やりたいことを教えてください

このまま癌患者さんのサポートを少しでもしていきたいです。退職したら、やりたいことがたくさんあります!! 旅行・サワードウブレッド作り・金継ぎ・マシン作業…でも一番は英会話のやり直しです。

Q5：ひそかな自慢を教えてください

まだ白髪染めはしていません(笑)。

Q6：私って実はこんな人！自身の性格を教えてください

優柔不断。どんな場面でも決められないです。(欲張りでどれもよく見えてしまうからでしょうか…?)



南10階病棟の岡本師長・大場副師長・スタッフの皆さんと

中央滅菌・検査部門 原 幸江さん

Q1：これまで経験した部署を教えてください

呼吸器内科、消化器外科、脳神経外科、小児科外来、リハビリ・麻酔・神経内科外来、内視鏡センター、総合診療科外来

Q2：働く上で大切にしていることを教えてください

誠意を持って、人と関わること。

Q3：こころに残る看護(体験)を教えてください

終末期の患者さんに、夜勤に入る事を伝えた時に掛けられた言葉が、「待ってるからね」でした。そして、ご家族と私が見守るなか旅立って逝かれました。私を待って旅立たれたのは、信頼してくれていた証かと思い、この仕事をしていて良かったと思いました。

Q4：今後やりたいことを教えてください

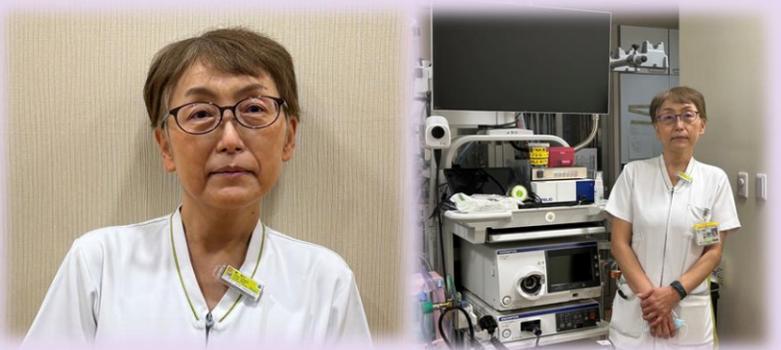
仕事はできる範囲で続けて、社会と関わりを持って新しい事に触れていきたい。プライベートでは、何か趣味を持って今まで発揮した事のない新しい能力を目覚めさせてみたい。

Q5：ひそかな自慢を教えてください

旅行先のホテルとご飯屋さん選びが上手な事。さすが！と自分でも思う所を直感で選んでいます。(最近主人に褒められました！)

Q6：私って実はこんな人！自身の性格を教えてください

優柔不断。一度返事をしておきながら、「やっぱり…」と返事を覆すことが多いので。



原さんは、内視鏡センターやCT室などの検査部門で活躍されています



五百歳師長と

今回のインタビューから、高野さん、原さんの働く姿勢や考え方、患者・家族への寄り添った看護など学ぶことがたくさんありました。これからも、スタッフが互いに協力し、刺激し合いながらよりよい看護を提供していきたいですね。

お知らせ

6月30日にキャリア相談窓口が開設されました！！

キャリア相談窓口では、看護キャリア支援センター員をはじめ、相談内容によっては認定看護師、専門看護師、看護学科教員とお話できるよう調整します。ぜひ、お気軽にご利用ください。

愛称も募集しています!!

※詳しくは、部署のポスター、看護キャリア支援センターのホームページをご覧ください

看護職員・看護学生のための

キャリア相談窓口

相談窓口の愛称募集!
 ☆採用者には図書カード5000円分を贈呈!(募集は9月末日まで)

詳細・応募はこちら▶ <https://r.gd/mOfw8>

看護職としてのキャリアや働き方について、相談してみませんか?